

# 京 都 府

## 実 施 団 体

京都経営者協会 TEL：075-361-8406

京都ボランティア協会  
TEL：075-354-8714

きょうとNPOセンター  
TEL：075-223-5291

## ワンモアライフ 勤労者ボランティア賞

**植木 力(46歳) 株式会社 カスタネット**

2001年創業(従業員10名)の株式会社カスタネットを経営する同氏は、本業のオフィス用品や工具などの通信販売のかたわら、企業などで不要になった中古・未使用の文具などを集めてカンボジアの子どもたちに送るボランティア活動を開始。きっかけは、カンボジア支援活動に取り組む人々と知り合ったことから。また、使用済みカートリッジを回収して再生産業者に売却した利益をもとに、2004年には現地に小学校の校舎も寄贈。

「企業の社会貢献活動は、一過性のものではなく継続が重要。中小企業こそが本物の活動が実践できると考える。今後は病院建設も視野に入れたい」と同氏。小中学校での講演では、文房具を介して物・命の大切さを伝えて共感呼び、また、社内にはお金だけではない働き方、生き方が浸透しはじめている。

京都



【国際】

# 中古文具などをカンボジアへ。 小学校の校舎も寄贈



2004年10月に完成したカンボジア・トレア村のトレア小学校の新校舎で。植木さんと、喜びいっぱいの子どもたち。



植木 力  
(うえき ちから)

46歳

株式会社 カスタネット  
(代表取締役社長)



トレア小学校新校舎竣工式でテープカットをする植木さん。

## オフィスで眠っている 文房具を回収し、寄贈

私が代表取締役を務める(株)カスタネットでは、文具、事務機器の通信販売を行いながら、全国のオフィスからレーザープリンターの使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。その目的は、カンボジアの小学校への文房具寄贈をはじめとする教育環境整備の支援です。

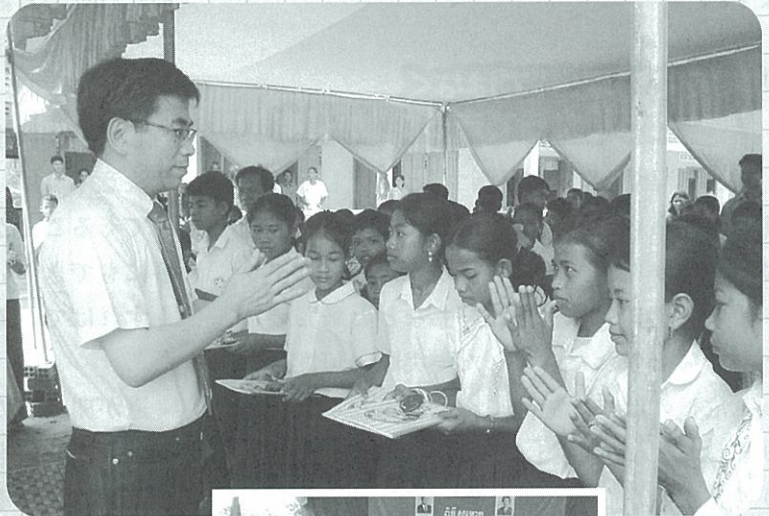
使用済みのトナーカートリッジは、リサイクルトナーの業者によって再利用可能な部材を生かしながらリサイクルされ、再使用されます。使用済みトナーカートリッジを再生業者に提供すると、1本あたり50~250円の収益が得られます。カスタネットではその収益を

文房具寄贈活動の送料代や小学校の新校舎建設のために活用してきました。さらに、トナーカートリッジとともに鉛筆や消しゴム、ノート、ボールペンなど、中古文房具や未使用文房具も回収して寄贈しています。

中古文房具回収では、机の中にいかに多くの品々が眠っていることかと驚きました。そんな日本では使ってもらえない文房具でも、カンボジアの子どもたちは目を輝かして喜んで使用してくれます。そんな姿を見て、物質優先社会の日本の現状に疑問を感じつつ活動を展開してきました。新校舎の竣工式に参加したときには、村人総出で出迎えていただき、それまでの苦勞が吹き飛びました。こうした経験を社会に還元するために、日本の小中学校向けに発展途上国の現状、身近な文房具か

文房具プレゼントに大喜びの子どもたち。

竣工式では大勢の人が出迎えてくれました。



ら物の大切さ、命や平和の尊さについて講演活動も行っています。

## サポーターも得た ベンチャー企業の社会貢献

創業以来続けてきた社会貢献活動ですが、最近では口コミで企業紹介を受け、業績向上につながる支援者が、地域、年齢に関係なく広がりつつあります。当社のような小さな企業にサポーターがついているのはうれしい限りです。

たまたま大手企業の不祥事をめぐるニュースが話題となっていたところに、新聞、テレビなどのメディアがベンチャー企業である当社の社会貢献について紹介してくれたのも幸いました。それを見た多くのベンチャー・中

小企業の経営者は社会貢献の必要性を認識し、知人たちからは「植木でもやっているのだ…」と自分たちの可能性を発見したと何度も聞くことができました。また、小中学校などで私のお話を聞いた子どもたちは、父兄にも内容を伝えた結果、それ以降ムダな文房具は買わないようになったといううれしい便りもありました。

京都中心ですが、水の中に石を投げたような広がりを周囲の変化に感じています。ひとつの固く決意した石がこんなに波紋を広げる姿は、まだまだ捨てたものではないと思います。さらに、従業員の空気もある時期から変わり、社会貢献活動に前向きになりました。仕事のやりがいや、ビジネスと社会貢献が融合する姿を見つけ出したのではないかと思います。

ます。

## “できない理由”ではなく “どうしたらできるか”が基本

「社会貢献型企業を目指す」と、苦しかった創業時から従業員に話してきましたが、当時は冷ややかな空気が続き、友人からも「ボランティアでは飯は食えない」などと厳しいアドバイスをいただきました。実際、何度もあった危機の際には辞めようと思ったこともありました。しかし、「これからの時代は『銭もうけ』だけが企業経営ではなく、社会と融合（シンクロナイズ）する姿が求められる。当社が大手通販会社との競争に勝ち抜くための差

別化は社会貢献しかない！」と力説し、それを社内外に浸透させるのには時間がかかりました。

しかし、いまでは、やらねばならないと固く決意すれば、自ずとそれに対処する道が開けてくることがわかりました。それ以来、何事にもできない理由を考えるのではなく、どうすればできるのかを考えるようになりました。

道が開けるのは人との出会いがあるからこそ。社会貢献もビジネスも、基本は人。人との出会いに、そして、街にいるサポーターの方々に、感謝しています。

## 植木 力さんのボランティア・プロフィール



- 勤務地：京都府京都市
- ボランティア形式：毎日型、イベント・プロジェクト型
- 活動を始めた理由：社会問題の解決のために
- 情報源：カンボジアに小学校を建設しているNGO関係者から状況を聞いて。
- 活動のための費用：なし
- 活動団体の主な担当：代表取締役社長の立場から、活動の率先垂範及び進捗管理などを行う。

## ●所属している団体について



株式会社 カスタネット

- 所在地：〒601-8033 京都市南区東九条南石田町5 京阪バス十条ビル1F
- 代表者：植木 力
- TEL：075-681-9100
- FAX：075-693-4625
- E-mail：info@castanet.co.jp
- ホームページURL：http://www.castanet.co.jp
- 主な活動場所・地域：全国
- 設立の経緯と団体の目的：大日本スクリーン製造㈱の社内ベンチャー（退職型）で文房具などのオフィス用品会社を2001年2月に創業。企業理念として、地球環境（ISO-14001）や福祉事業の支援、カンボジアに中古文房具を送る活動を通じて社会に貢献。